

米国 貿易赤字の増加ペース鈍化で成長を支援（15年4月貿易統計）

発表日：2015年6月4日（木）

～4-6月期の実質GDP成長率への寄与度は大幅改善～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治

03-5221-5001

貿易収支（U.S. International Trade in Goods and Services）

	貿易収支			輸出		輸入			
	Balance	財 Goods	サービス Services	Exports		財 Goods	Imports	財 Goods	
14/10	▲427.54	▲619.17	+191.63	+1.4	(+2.2)	+1.3	+1.0	(+3.0)	+0.8
14/11	▲400.22	▲593.31	+193.09	▲0.8	(+0.6)	▲1.2	▲1.8	(+2.3)	▲2.1
14/12	▲455.49	▲647.16	+191.67	▲0.6	(+1.0)	▲1.4	+1.8	(+4.4)	+1.8
15/01	▲424.46	▲619.89	+195.43	▲2.8	(▲1.8)	▲3.9	▲3.6	(▲0.2)	▲4.0
15/02	▲372.48	▲570.24	+197.76	▲1.4	(▲1.4)	▲2.3	▲3.4	(▲3.6)	▲4.1
15/03	▲505.66	▲699.77	+194.11	+0.7	(▲3.5)	+0.6	+6.5	(+0.3)	+7.5
15/04	▲408.79	▲606.52	+197.73	+1.0	(▲2.6)	+1.5	▲3.3	(▲3.6)	▲3.8

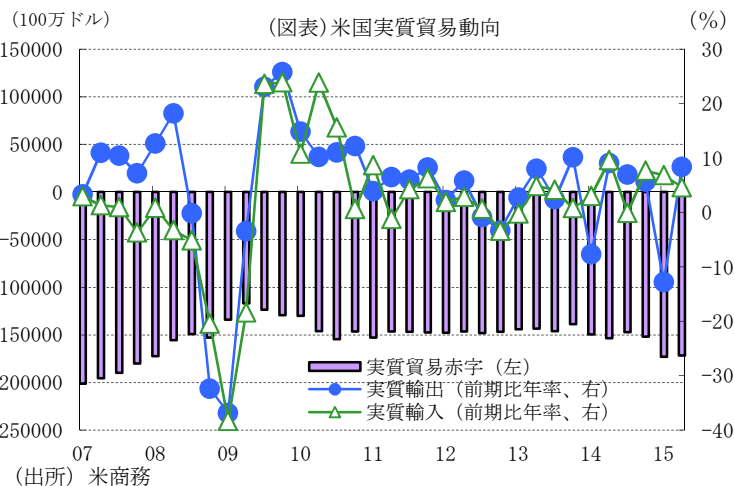
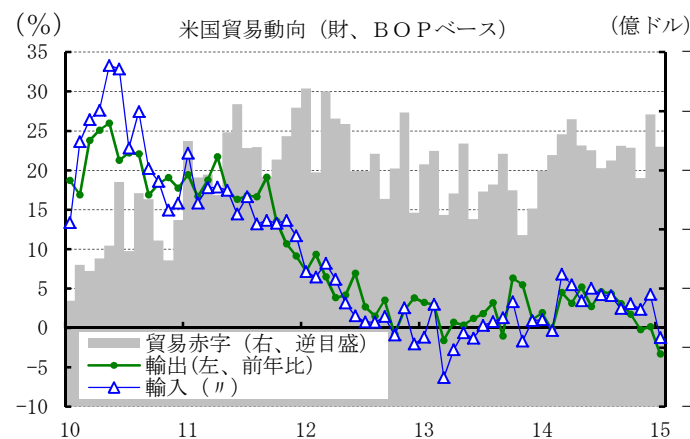
（注）輸出入の数字は前月比。カッコ内は前年同月比。

4月貿易赤字は▲408億ドル（前月▲505億ドル）と前月比▲19.2%

15年4月の貿易収支（サービスを含む国際収支ベース、季節調整済）は、▲408.79億ドル（前月▲505.66億ドル）と前月比▲19.2%縮小し、赤字額が市場コンセンサスの▲440億ドルを大幅に下回った。サービス収支の黒字額が小幅増加したうえ、財収支の赤字額が大幅に縮小した。輸出が航空機、通信設備、燃料油、処方薬、原油、産業機械、石油製品等の増加によって前月比+1.0%と拡大ペースを加速した一方で、輸入がアパレル関連、携帯電話、靴、家具、玩具・ゲーム・スポーツ用品、産業機械、自動車等の縮小により同▲3.3%と減少した。もっとも、西海岸での港湾ストの影響を受け変動が大きくなっているが、米国内需の拡大、ドル高を背景に、輸入の水準が切り上がっており、財収支の赤字額は5月以降拡大すると予想される。

4-6月期の純輸出のGDP寄与度は約▲0.1%

実質貿易動向では、4月の赤字額が1-3月期平均より減少している。5、6月に赤字額が増加する可能性が高いものの、4-6月期の純輸出のGDP寄与度は前期比年率▲0.1%程度と1-3月期の同▲1.88%からマイナス幅を縮小し、実質GDP成長率の再拡大に貢献すると見込まれる。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。